



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

## 《米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況》

|             | MLP        |         | 米国株        |         | 米国REIT     |         | 米10年国債利回り | WTI原油先物<br>(ドル/バレル) | ヘンリーハブ<br>天然ガス先物<br>(ドル/百万BTU) |
|-------------|------------|---------|------------|---------|------------|---------|-----------|---------------------|--------------------------------|
|             | トータルリターン指数 | 予想配当利回り | トータルリターン指数 | 予想配当利回り | トータルリターン指数 | 予想配当利回り |           |                     |                                |
| 2021年12月31日 | 1,138.58   | 7.95%   | 9,986.70   | 1.39%   | 28,625.44  | 2.50%   | 1.51%     | 75.21               | 3.73                           |
| 2022年1月31日  | 1,264.60   | 7.57%   | 9,469.92   | 1.48%   | 26,354.72  | 2.99%   | 1.78%     | 88.15               | 4.87                           |
| 前月比         | 11.1%      | -0.38%  | -5.2%      | 0.08%   | -7.9%      | 0.49%   | 0.27%     | 17.2%               | 30.7%                          |
| 前年比         | 47.1%      | -2.40%  | 23.3%      | -0.11%  | 30.2%      | -0.44%  | 0.71%     | 68.9%               | 90.1%                          |

(出所)ブルームバーグ

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

## 《先月の米国MLP市場の動き》

1月のアレリアンMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)指数は、前月末に比べて上昇しました。

上旬は、新型コロナウイルスのオミクロン型の感染拡大による経済への影響は限られるとの見方が根強い中、原油需要の回復期待等を背景にMLP市場は上昇しました。

中旬は、原油需要の回復が続くとの見方から原油価格が上昇する中、MLP市場は概ね底堅い展開となりました。

下旬は、米連邦準備制度理事会(FRB)による金融引き締めへの警戒感やウクライナ情勢を巡る地政学リスクの高まりなどを背景にMLP市場は伸び悩んだものの、月末にかけて再び底堅い動きとなりました。

## 《米国MLPトータルリターンおよび配当利回りの推移》

MLP・米国株・米国REITのトータルリターン指数

(2019年末=100)



MLP・米国株・米国REITの配当利回りと長期金利



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年1月2日~2022年1月31日

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

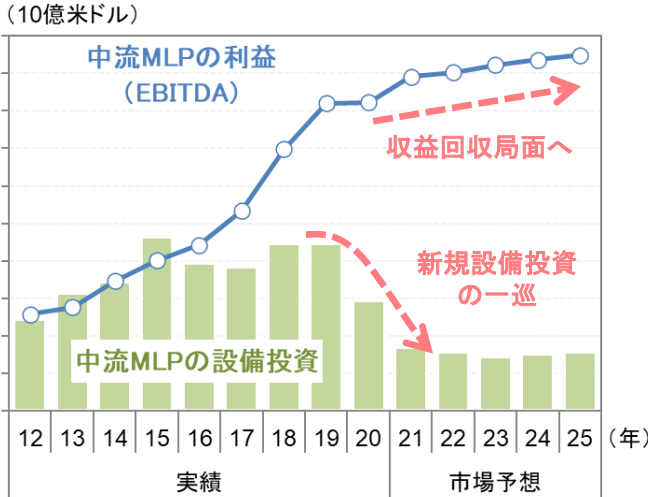


当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

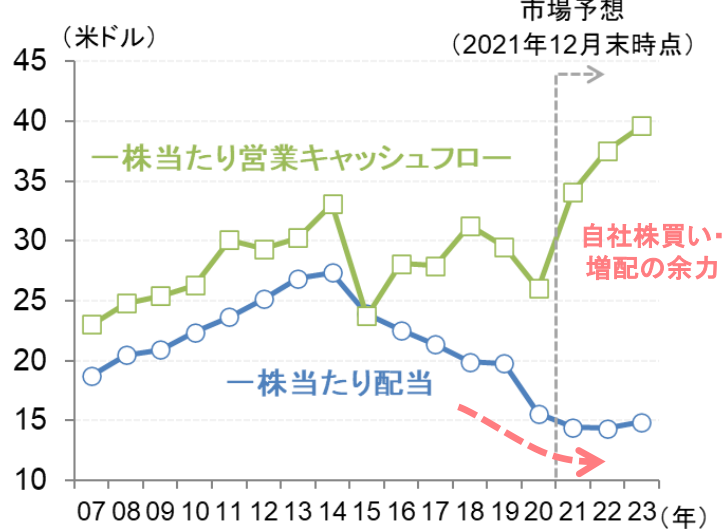
## 《MLPの利益と配当動向》

- 中流ビジネスを営むMLPのビジネスモデルは、過去においてはレバレッジを活用してインフラ投資を積極的に行い、成長を追求するというものでしたが、足元ではすでに設備が十分に構築されており、各企業は創出されたキャッシュフローを負債の削減に活用する一方、自社株買いや増配にも充当するモデルにシフトしています。
- 一株当たり営業キャッシュフローも増加することが予想されており、今後は、自社株買いや緩やかな増配の余力が高まることが期待されています。配当は、2021年以降は減配の動きが終息すると予想されています。

MLPの利益と設備投資額の推移



MLPの一株当たり営業キャッシュフロー・配当の推移



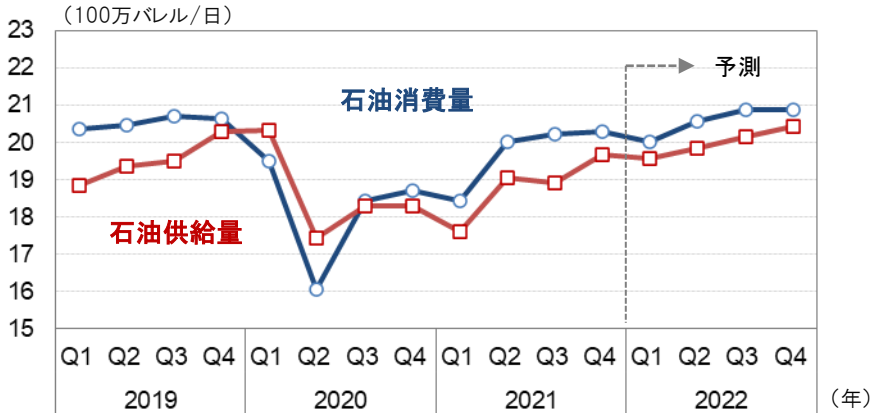
(出所)ファクトセット (期間)実績:2012~2020年、予想:2021~2025年  
※集計対象は中流MLP28銘柄 ※予想は2021年12月末時点の市場予想

(出所)ファクトセット (期間)実績:2007~2020年、予想:2021~2023年  
※集計対象はアレリアンMLP指数採用銘柄 ※予想は2021年12月末時点の市場予想

## 《米国のエネルギー動向》

- 足元の原油価格は、世界的に経済活動が再開しエネルギー需要が増加する一方、地政学リスク等による供給懸念が高まっていることから、上昇が続いています。米エネルギー情報局(EIA)の見通しでは、今後も2022年後半にかけて米国の石油消費量は緩やかに増加することが予想されています。エネルギー需要の拡大は供給量の増加につながることで期待されるため、中流エネルギー企業にとって追い風になるとみられています。

米国の石油需給の実績と見通し



(出所)米エネルギー情報局(EIA)、2022年1月時点  
(期間)実績:2019年1Q~2021年4Q、予測:2022年1Q~2022年4Q

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保障するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

## 《先月の米国MLP・中流エネルギー企業関連ニュース》

- （1月4日）主要産油国で構成される石油輸出国機構(OPEC)プラスは、現行の原油増産の継続を決定。
- （1月10日）天然ガスの輸送・貯蔵等を行うEnterprise Products Partners LP (EPD)は、Navitas Midstream Partners LLCを32.5億米ドルで買収することで合意。Navitas Midstreamは、パーミアン地域(ミッドランド盆地)で天然ガスの集積・処理サービスを提供。

## 《2021年10-12月期の決算状況》

- 米国MLP・中流エネルギー企業は、一般的にその期の決算発表の前に配当を発表することが多く、1月から2021年10-12月期の配当の発表を開始。配当発表済みの主要MLP・中流エネルギー企業については、概ね前期からの配当を維持。

### 米国MLP・中流エネルギー企業の2021年10-12月期の配当動向

| 銘柄名                             | 公表日   | 配当伸び率   |         | 予想配当利回り |
|---------------------------------|-------|---------|---------|---------|
|                                 |       | 前期比     | 前年比     |         |
| Enterprise Products Partners LP | 1月6日  | +3.3%   | +3.3%   | 7.9%    |
| Plains All American Pipeline LP | 1月10日 | ±0%     | ±0%     | 6.7%    |
| Antero Midstream社               | 1月12日 | ±0%     | -26.8%  | 9.0%    |
| Genesis Energy LP               | 1月13日 | ±0%     | ±0%     | 5.3%    |
| BP Midstream Partners LP        | 1月18日 | ±0%     | ±0%     | 7.9%    |
| Phillips 66 Partners LP         | 1月18日 | ±0%     | ±0%     | 8.4%    |
| ONEOK社                          | 1月19日 | ±0%     | ±0%     | 6.2%    |
| Kinder Morgan社                  | 1月19日 | ±0%     | +2.9%   | 6.2%    |
| Shell Midstream Partners LP     | 1月20日 | ±0%     | -34.8%  | 9.4%    |
| Targa Resource社                 | 1月20日 | +250.0% | +250.0% | 2.4%    |
| Crestwood Equity Partners LP    | 1月20日 | ±0%     | ±0%     | 7.9%    |
| Western Midstream Partners LP   | 1月21日 | +1.2%   | +5.1%   | 7.9%    |
| DCP Midstream LP                | 1月24日 | ±0%     | ±0%     | 7.9%    |
| MPLX LP                         | 1月25日 | -44.9%  | +2.5%   | 7.9%    |
| Energy Transfer LP              | 1月25日 | +14.8%  | +14.8%  | 7.3%    |
| Magellan Midstream Partners LP  | 1月25日 | ±0%     | +1.0%   | 7.9%    |
| Cheniere Energy Partners LP     | 1月28日 | +2.9%   | +6.9%   | 5.7%    |

(出所)ブルームバーグ、各種報道等 ※2022年1月末時点

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。